

2023年新年号

市政
報告完全無所属
柏市議会議員・社会保険労務士

北村 かずゆき

こんにちは。

コロナウイルスが出現して3年が経過し、皆様の生活や価値観、社会のありかたも少なからず変化をしていると感じ、また、ロシアのウクライナ侵攻を始めとした国際的な情勢不安や物価高騰、温暖化による極端な気候や災害など、今こそ政治の果たす役割や、市議として自分に何ができるかを考えています。

また、私は人と会うことが制限されがちなコロナ禍であったからこそ、大学院で公共政策を学ぶことを決意し、現在、平日夜と土曜日の日中は授業を受け、自分自身に挑戦しています。将来学んだことを少しでも柏市に還元できれば幸いです。

今年の8月には柏市議会議員選挙も予定されており、今後とも人の役に立てるよう「人と命に向き合う」政治信念で頑張ってまいります。

下記、表面に市政情報、裏面に私の行なった一般質問の一部ですが報告書を作成しましたのでご覧頂ければ幸いです。

北村 和之

この柏に
確かな未来を！

電子図書館サービス開始



子育て世帯支援給付金 出産・子育て応援交付金

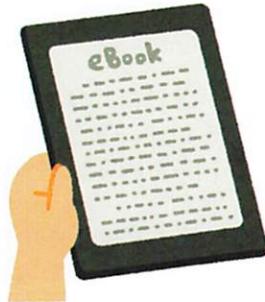
図書館へ足を運ばずに、スマートフォンやパソコンなどから、24時間いつでも電子書籍を借りることができます。サービスを、令和5年1月24（火）13:00から約1万タイトルの電子書籍を揃えて開始します。

(同日、専用ホームページ開設予定)

日中の来館が難しい方や、文字の拡大・読み上げなどデジタルのメリットも活用することで、市民の読書の利便性向上に繋がればと考えます。

現在、約84万冊の蔵書のうち、一部の電子化がありますが、書籍の更なる電子化の充実を求めてまいります。

(これまで通り紙の本も借りられます)



振り込め詐欺対策 自動通話録音機配布

卑劣で巧妙化する振り込め詐欺が市内で多発しており、令和4年1月～11月では被害件数108件（前年比33件増）、被害額約3億（前年比約1億8000万円増）となっています。

80歳以上の被害者が多い状況を踏まえ、80歳以上の希望者を対象に自動通話録音機を無償で配布・設置することとし、令和5年2月に対象世帯へ通知を発送し、受付開始予定です。

社会全体の見守りで、犯罪被害者を生まないような世の中としたいものです。



9月議会質問内容

- ①人口減少社会への認識
- ②ハザードマップ改定 全戸配布
- ③公共施設 AED ボックス設置
- ④校庭 公園の芝生化
- ⑤がん患者へのウィッグ補助
- ⑥トイレ洋式化 温水洗浄便座

- ⑦コロナ後のまちづくり
- ⑧若者支援政策
- ⑨生活保護扶養照会、生活保護のしおり

12月議会質問内容

- ①アピアランスケア
がん患者ウィッグ補助
- ②全庁、全市民、救命講習受講体制の確立
- ③市民参加、まちづくり推進のための調査
- ④地域プランディング

- ⑤雑草対策、所有者不明土地、空き家
- ⑥リカレント教育、職員支援
- ⑦生活保護のしおり改定状況

緑字部分については裏面に質問内容を掲載しています！



広報かしわ全戸配布 実現！

初当選時から思いを持って取り組んできた、広報かしわ等の全戸配布ですが、この度、広報かしわが本年5月からA4冊子スタイルで月1回の発行となり、全世帯にポスティングが開始されます。

これまで新聞購読世帯への折込みでしたが、新聞購読世帯の減少で、多くの世帯に届いていない状況に問題意識がありました。防災や福祉、ワクチンなど、その時々に柏市が一番伝えたい情報が記載されている広報誌は、一部の市民へ届けば良いものではないと考えていました。

就任して約1年が経過した太田市長ですが、広報部の新設や地域プランディングなど、情報発信や「伝える行政・伝える政治」という意識が高いことを評価致します。

議会だより、選挙公報に関しては、全戸配布の決定はなされず課題は残りますが、引き続き早期の実現を求めてまいります。



雑草対策、所有者不明土地

例年、地域の方から「裏手の空き地や隣家から雑草やツタが越境して困っている」などご相談も多く、どうすれば住民が快適に暮らし、根本的問題解決を図れるのか、問題意識があります。住民関係希薄化や家族構成の変化、高齢や障害で対応困難など、高齢化の進展で益々問題化することも予想されます。

この度、国で雑草対策にも関わる民法の大改正がなされ、4月から施行されます。(相隣関係の見直し)

主に、



- ①隣地使用権のルール見直し（越境してきている木や枝の切除のため隣地を一時的に使用可能）、
- ②越境した竹木の枝の切り取りルール見直し（催促しても越境した枝などが切除されない場合、越境された側の土地所有者が自ら枝を切り取ることが可能）

このような大きな法改正を市民へ周知していく事も必要と考えます。

また、所有者不明土地という社会問題もあります。

所有者不明土地は、相続登記がされることを要因として、九州の面積と同等以上あり、私有地の約2割は所有者把握が難しいと言われ、公共事業や復旧・復興事業が進まず、土地の利活用の阻害要因となり得ます。

続き↑

**北村
かずゆき
連絡先**

〒277-0054
千葉県柏市南増尾2-8-27
TEL 090-7414-4205
MAIL k.kitamura1981@gmail.com

**北村
かずゆき
プロフィール**



がん患者ウィッグ補助 アピアランスケア

これまで「がん対策取組み日本一のまち柏」を目指し、議会で幾度も取り上げてきましたが、実施までは至らず悔しく、一方で千葉県内では最近になり実施する自治体もあり、現在5市町村が実施、千葉県でも補助事業の検討が見受けられます。

アピアランスケアとは外見の変化に対するケアで、抗がん剤治療などでの脱毛や、手術での身体的な欠損など、外見の変化をケアし患者の苦痛を和らげるものです。

Q、脱毛や外見変化によるがん患者の精神的苦痛、経済的負担や療養生活向上、就労等の社会参加の面でも行政としての支援は意義や必要性が高いと考える。アピアランスケア、ウィッグ補助助成を柏市として実施して頂くことを要望するがどうか。



A、がん治療による外見の変化、特に頭髪、まつげ、眉毛等の脱毛の副作用については、患者の心理

的な負担も大きく、アピアランスケアとして、医療機関や支援機関において取組みがなされていると承知している。がん患者ががんと共生して生活し、その支援の実施については、国や県の動向を見ながら見極めていく。

あとがき

議員になり嬉しかったことはいくつかありますが、政策が前に進むことは喜びです。とりわけ、市長が「がん対策取組み日本一のまち柏」を目指すとの答弁や(前市長も現市長も)、今回の広報かしわ全戸配布実現は嬉しかったです。高い投票率や高い関心のなかで進む政治や行政は一定の緊張感を生み、ひいてはそれが住民のためになると考えています。

一方で、議員となって一番辛いことは仕事の大変さより、私に関わり、応援をしてくれた方々の訃報に接することでした。多くのご縁を頂くなかで多くの訃報に接し、その度に耐えがたい苦痛を感じます。それでも、感謝の気持ちを持ちながら前向きに頑張ってまいります。



今後、相続機会の増加により更なる問題となることが予想され、強い問題意識で質問に立ちました。

Q、毎年発生する地域における雑草への対応、対策状況について認識はどうか。

A、雑草などに関する苦情や相談は年間300件あり、管理については土地の所有者や管理者に対し適切な管理を促すことを基本としている。国では、管理不全土地の在り方の見直しも図られることから、制度を研究し、関係課とも連携し、制度活用について検討していく。

1981年	9月16日生まれ
1994年	酒井根小学校 卒業
1997年	酒井根中学校 卒業
2000年	東洋大学付属牛久高校 卒業
2003年	拓殖短期大学経営科 卒業
2006年	社会保険労務士試験合格 社労士事務所に勤務

2010年 ～2014年	参議院議員秘書
2015年	柏市議会議員選挙 初当選
2019年	柏市議会議員選挙 2期目当選
【現在】	明治大学公共政策大学院 在学中 社会保険労務士としても活動中
【趣味】	登山、読書、マラソン